

◎2月11日開催 旗振支部企画例会

## 西宮の歴史探訪

林 洋治

西宮の歴史齧ろうと見出しの銘打っての例会。集合は、阪神香櫨園駅 9:00。香櫨園は当初、遊園地として開発されたが、今では西宮市内にある風光明媚な高級住宅地七つの園のうちの一つ。今回の道順は酒蔵巡りと重なることが呼び水となったのか、32名の多くの参加者を得た。駅前概要説明の後出発。



桜で有名な夙川河畔を下り御前浜へと。花見の時期は、

花見客で歩けないほどだがさすがにこの時期は閑散と心地よい春風に乗って散策できた。

御前浜は、カモメや冬鳥が飛び交う阪神間の残された貴重な自然の浜。また、この一角に幕末の混迷期に外敵に備えて築造された砲台が残る。貴重な歴史遺産だ。



御前浜にて勢揃いで記念撮影

次に向かったのは白鹿記念酒造博物館。同博物館は酒蔵館と記念館の2施設で構成され双方を見学。記念館は雛祭りが近いことから京の五節句の形の特別展、桜守として有名な笹部新太郎の常設展を鑑賞。同氏は、



経歴を見ていると大阪出身で華やかな経歴の中、青春時代に遠く九州の私の母校に学んだとあり身近に感じられた。この施設に付随してショップもあり見学そこに、吟醸酒に舌鼓の方も。下は同記念館前で休息風景。皆さんの後ろの木は、戦時中絶滅したと思われ、笹部さん再生に貢献し、同氏が一番好きだったという「西宮権現平桜」右はその開花の様子。春に見てみたいですね！



次は「宮水発祥の地」を見学ルートに入っていたが時間的に余裕がなく今回は説明だけで割愛。また、同じく時間制約から酒蔵通りの白鷹緑水苑、日本盛煉瓦館を横目に見ながら東に進み、次の目的地今津灯台へ。今津灯台は



江戸時代の文化7年(1810年)創建の我が国最古の現役木造灯台。大関酒蔵の長部家が設置。



前方に県設置の大型水門建設中で景観が損なわれると共に灯台として継

った。ごく一部でしたが西宮の歴史探訪いかがでしたか？えっ、試飲の美味しい酒の味と饅頭の味しか残らなかったという人は！！

続使用するため沖合に移設を検討中らしい。

途中、公園の横を何度か通過したが休憩をとれなかったため皆さんお疲れのご



様子。灯台横の波止で小休止。

ここからは阪神今津駅を目指す帰路。この辺りを見回すとすべてが大関酒蔵の工場、看板ばかりさながら企業城下町といった風情。途中、今津小学校の六角堂を外観だけだが鑑賞。明治15年小学校の学舎として地元の多大な寄付で建設された。移転など繰り返されたが昔の風情そのままに保存され利用されている。教育や港湾の安全確保

など昔の篤志家って立派ですね！！



最後のお立ち寄り所はここ大関の関寿庵。途中の酒蔵



ショップで購入すると手荷物が大変なので駅近くのこの店を選んだ。甘辛なんでも揃う店で皆さん爆買い。何か私が大関の勧誘員みたいな錯覚になって恐縮！！

ここから5分ほどで今津駅着、ここで解散とな